

第110回 理事会（平成18年度第9回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成19年2月13日（火） 19:00～21:00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館4階第4研修室 （横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長） 山田 隆、八尾 勉
（専務理事） 片 忠夫
（常務理事） 三塚 康雄、上田 英之、木村 徳善
（理事） 徳本 進、国島 みどり、吉野 大成、藤田 浩介、金子 理人、
清水 忠、岡本 洋一、百海 廷、森本 珠水、小池 光、
平沢 幸一、吉岡 去私、
書 面 票 決：（会 長） 河野 洋平、
（副会長） 野地 澄雄
（常務理事） 菊地 富士夫
（理 事） 川田 光代、荻野 恭宏、斎藤 幸雄、平賀 淳夫
4. 出席監事 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出 百海 廷理事、吉岡 去私理事を選出
7. 書 記 高木 豊広報委員を指名
8. 議 事

開 会 八尾副会長から開会の挨拶を述べた。

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

平沢理事より以下の事項に関し報告があり、了承された。

- ①各行事の参加者は昨年並み。各行事の参加人数については次回理事会にて報告する。
- ②南関ノルディック、アルペン3連戦は会場変更となったが、参加の一部選手から意見聴取の結果、スキー場及びコースについては好評であった。
- ③第62回国民体育大会ノルディック成年男子Cで縄田選手8位入賞した。

(2) 審議事項

- ①第62回国民体育大会スキー競技会神奈川県代表選手・役員について（別紙配布資料）
平沢理事より、別紙のとおり選手31名、神奈川県スキー連盟役員10名、計41名の推薦提案がなされ、事後ではあるが承認された。
- ②チャレンジカップ第2戦岩岳大会の大会委員長について
平沢理事より、チャレンジカップ第2戦岩岳大会の大会委員長について、副会長の都合悪い為、古郡顧問に依頼する旨の提案がなされ、片専務理事からは過去実績がないことから菊地競技本部長と片専務とで別途相談して決定することとし、古郡顧問を派遣する場合もありうることで承認された。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

木村本部長より、下記行事（配布別紙参照）に関して報告がなされ、了承された。

- ①南関東ブロック研修会
期日：2006/12/1～3 会場：車山高原スキー場
SAJ立会理事：山田隆教育本部理事
Nデモ：若月Nデモ、松田Nデモ、西村Nデモ、水落Nデモ、イグザミナー：柳橋泰久

参加専門委員53名、パトロール研修会も同時開催

②パトロール中央研修会実施

期日：2006/12/1～3 会場：ピラタス夢科スキーリゾート 参加専門委員2名

③スノーボード技術員研修会実施

期日：2007/12/5～6 会場：軽井沢プリンスホテル 参加専門委員4名

④北海道スキーツアー開催

期日：2006/12/12～17 ＊次回理事会にて総務本部より報告予定

⑤車山Ⅰ 行事開催

期日：2006/12/23～24 会場：車山高原スキー場

指導員研修会／検定員クリニック 参加者：259名

SB養成講習会／レベルアップ講習会 参加者：11名

パトロール専門委員強化合宿

役員：45名、野地副会長、山田副会長（SAJ立会い）、片専務他

⑥野辺山

期日：2007/01/6～7 会場：レーシングキャンプ野辺山

指導員研修会／検定員クリニック 参加者：129名

⑦五竜Ⅰ

期日：2007/1/12～14 会場：白馬五竜スキー場

指導員研修会／検定員クリニック他、SB、パトロール、HC

参加者 SB60名、養成96名

役員：46名、山田副会長（SAJ立会い）、三塚常務理事

⑧車山Ⅱ （神奈川・千葉共催技術選）

期日：2007/1/20～22 会場：車山高原スキー場

参加者：351名、役員：18名、野地副会長、片専務

⑨湯沢Ⅰ （スキー、SB養成講習会）

期日：2007/1/26～28 会場：ガーラ湯沢スキー場

参加者：スキー養成92名、SB養成8名、役員：12名

⑩五竜Ⅱ （指導員養成講習会、指導員研修会、エキスパート講習会他）

期日：2007/2/2～4 会場：白馬五竜スキー場

参加者：201名 役員：21名

⑪韓国行事 中止

⑫教育本部会

期日：2007/1/30 会場：県社会福祉会館

（2）審議事項

①車山行事Ⅳ 準指導員検定会 検定員、BC級検定員について

木村本部長より、準指導員検定会・BC級検定員検定会の検定員の提案がなされ、承認された。

・準指導員検定 主任検定員：木村本部長

検定員チーフ：清水理事、森本理事

検定員：佐藤、荻原、高橋功、小浅、望月、藤田

・BC級検定 主任検定員：百海、検定員：田村、古林

・スノーボード 主任検定員：金子、検定員：根本、山本、久保田

②第44回全日本スキー技術選手権大会の派遣選手について

木村本部長より、別紙のとおり第44回全日本スキー技術選手権大会の派遣選手15名の提案がなされ、承認された。

③スノーボード南関東大会兼全日本技術選手権の選手選考について

木村本部長より、スノーボード南関東大会兼全日本技術選手権の選手選考は現地にて選考委員会を開催し、成績に基づいて決定することの提案がなされ、片専務からは選考結果については次回の理事会で事後報告することで、承認された。

④第6回環富士山スキー技術戦の検定員について

木村本部長より、第6回環富士山スキー技術戦の検定員についての提案がなされ、承認された。片専務理事から、今回は神奈川県が当番であり、昨年懸案となっていた申し合わせ事項を規定化することの指示があった。

・検定員：高柴、加藤、岡本 TD：木村本部長

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

①慶弔関係について

イ) 押川顧問 瑞宝単光章受賞祝賀会(2/3) 片専務出席 祝い金1万円

ロ) 川上 修 SAJ専門委員の御尊父死去 弔電

②資金運用状況について

藤田理事より、1月末現預金残高の報告があり、平成17年度：22,691,532円、平成18年度：17,358,441円で、昨年度との差異は確認中。デジエントリー本格導入による入金ずれ(翌月15日入金)の影響の可能性があるとの報告があり、了承された。

③登録状況について

荻野理事より、18年度登録人員の報告があり、了承された。

イ) 18年度登録手続き状況

会員登録 17年度 一般：5613名 総数：5839名

18年度 一般：5339名 総数：5550名

団体登録 新規登録：6 総数：264 昨年：272

④研修会費免除願いについて

上田本部長より、研修会費免除願いの運用についてはこれまで下記の運用をしており、今後もこの方針で統一する旨の報告があり、了承された。

『やむを得ず長期に参加できない場合は、神奈川の年度払い研修会費の免除を行なう。SAJの資格は停止状態となる。長期となる場合は資格喪失となるが、SAJに対して神奈川県から理由書を提出し、資格の喪失回避の働きかけを行なうが、保障の範囲ではない。3年連続研修会不参加の場合は、資格喪失の規定に抵触する。他県連で研修会を受けた場合は、研修会費免除を認めない。SAJ会員登録を3年連続せず復活した人は、事前の免除願いが相当。SAJ会員資格は復活するが、指導員資格は復活しない。』

⑤各種委員会報告

次の各理事からの報告があり、了承された。

イ) 総務委員会 特になし

ロ) 普及振興委員会(吉野理事)

ジュニア行事B日程は2月17日～18日で開催予定。

参加者39名、スタッフ11名、内SBは現地スタッフ2名を予定

ハ) HC委員会(国島理事)

賛助会費中間集計結果：12月末まで 582,695円

五竜セミナーⅡ参加者12名、スキー教室参加者17名、ボランティア講師11名

二) 広報委員会 特になし

ホ) 規約規定委員会(徳本事務局長)

諮問事項4項目について、第2回・3回委員会を開催、審議実施。4月初旬に答申案確認予定。

ヘ) 北海道委員会(吉野理事)

次回理事会にて今年度行事報告を行う

ト) 財務委員会 特になし

⑥その他

イ) 県教育委員会の公益法人実態調査結果について(別紙、資料参照)

徳本事務局長より、1月17日に県教育委員会の公益法人実態調査が実施され、3項目指摘された旨の報告があり、了承された。

ロ) 18年度県体育功労者表彰の県連推薦「小島参与」の結果について

徳本事務局長より、18年度県体育功労者表彰の県連推薦「小島参与」は、見送りとの連絡があった旨の報告があった。

ハ) 大会保険の問い合わせ先について(別紙配布資料参照)

吉野理事より、川田理事の代行で配布資料には各行事毎に掛金を明記してあります。精算するときはこの掛け金でお願いします。事故等があった場合は保険担当に連絡をし、対応をお願いします。

(2) 審議事項

①韓国行事中止について

上田本部長より、2月開催予定の韓国行事は参加者少ないために中止とした旨の提案がなされ、次年度は企画検討を行なうことで承認された。

②研修会費免除願い申請について 2名の申請あり

徳本事務局長より、研修会費免除願いの申請が2名（出産・育児）あった旨の提案がなされ、承認された。上田本部長より、本来は11月締切りであったが、この事実が判明していなかったため追加申請である。

③HC賛助会費の活用方法について

国島理事より、HC賛助会費が今年度は20万円の予算に対して、約60万円の賛助会費が集まった。これは単年度の会費収入ですが、活用方法としては次年度への費用として申し送り事項に残しておく旨の提案がなされ、担当理事がきちんと申し送ることで承認された。

4) その他

①常務会報告について（別紙配布資料参照）

片専務理事より、12月～1月に行なわれた常務会の議論経過についての報告があった。その内容について、個別に常務会との話し合いを行なった結果、最終結論はシーズン中でもあることからこの議論は凍結とし、シーズン終了後必要あれば別途話し合うこと。その場合は、顧問参与会議等の開催も考慮に入れることの報告がなされた。

②監事からのコメント

木村監事より、1月31日にプレ監査を実施しましたが、『行事の表紙が見えない等不備があるものがあったので注意して下さい。』との要望がなされた。

閉 会 山田副会長から閉会の挨拶を述べた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成19年 2月 26日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印